

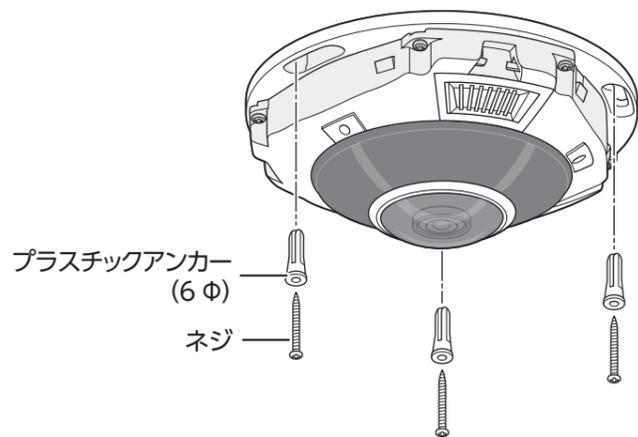
# STEP4 設置する (続き)

## カメラを壁または天井に固定する

- !** カメラを設置するには以下の内容に注意してください。設置にあたり、危険な状態が予想される場合は、ただちに作業を中止し、必ず安全を優先した対応を行ってください。
- 故障の原因となるため、製品のカバーをはずした際や設置の際は、静電気に十分注意して取り付けてください。
  - 製品に酸やアルカリが付着しないよう注意してください。付着した場合は、速やかにふき取ってください。
  - ほこりが付着した際は、眼鏡ふきのような柔らかい布でレンズに傷をつけないように注意してふき取ってください。
  - ドームカバーの保護ビニールは、指紋などの付着防止のために、設置完了までつけたままにしてください。
  - カメラを設置するときには、落下防止ケーブルなどで機器が地面に落下しないようにしてください。落下させると破損や故障の原因になります。また設置作業に必要な十分な場所の確保をしてください。

次の手順に従って、本製品を設置してください。

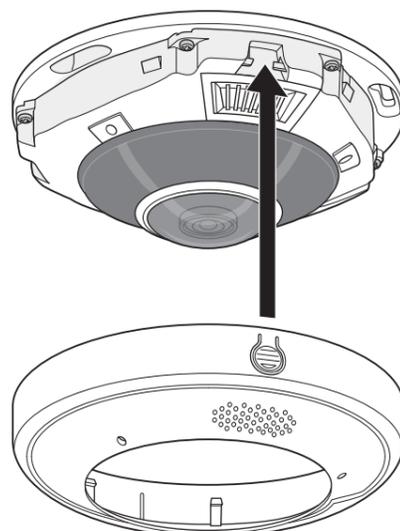
### 1 カメラを付属の専用ネジとプラスチックアンカーで壁または天井に固定します。



- !** 取り付けには付属の設置用ネジキットまたは取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。

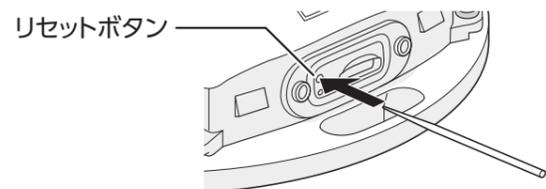
### 2 ドームカバーを取り付けます。

カバー取り外しボタンを突起がある溝に合わせて取り付けます。



## 工場出荷時の状態に戻すときは

ドームカバーとスロットカバーを外し、細い棒でリセットボタンを15秒以上押し続けます。



- !** リセットボタンを押すときは、傷がつかないように固くない材質で、折れないものを使用してください。

リセットボタンは、カメラの電源を入れてから10分以内に押し続けてください。電源を入れてから10分以上経過するとリセットボタンを押してもリセットされません。その場合は、一度電源をオフにしてから再度リセットボタンを押してください。

リセット後は、スロットカバーを取り付け直してください。スロットカバー取り付けネジの締め付けトルク：約0.44N・m (約4.5kgf・cm)

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。  
 ・本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。  
 ・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。  
 ・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。  
 ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。  
 ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。  
 ・Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名/社名などは、一

般に商標ならびに登録商標です。  
 ・本製品は、GNU General Public Licenseに基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public Licenseの条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思われませんが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。なお、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。

## 各マニュアルの構成

- はじめにお読みください (別紙)**  
には以下のことを説明しています。
- セキュリティ強化のためのお願い
  - 各部の名称とはたらき
  - 箱の中身を確認してください
  - 本製品のおもな仕様
  - 安全にお使いいただくために ● 使用上の注意
  - 設置上の注意 ● サポートサービスについて
  - 修理について ● 保証規定

- セットアップガイド (本紙)**  
には以下のことを説明しています。
- 本製品の特徴
  - 本製品を接続する
  - 本製品を設置する

- 製品ページ (Web)**  
には以下のことを説明しています。
- ユーザーズマニュアル (PDF)
  - 本製品のファームウェア
  - オプション品情報
- <http://www.elecom.co.jp/r/54>



## 本製品の特徴

- 魚眼レンズを搭載し、全方位的な撮影が可能です。
- 画像解像度は4000×3000、フレームレートは15fps、圧縮方式はH.265、H.264、MJPEGに対応しています。
- 魚眼カメラが撮影した円形画像だけでなく、4台のPTZカメラ (パン・チルト・ズーム機能を備えたカメラ) のような使用や、パノラマ画像の使用もできます。

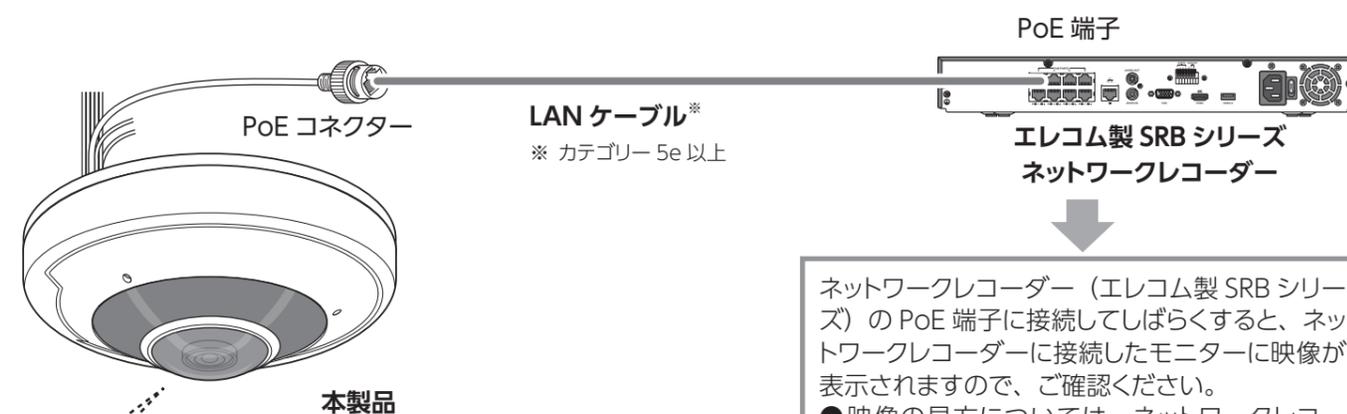
# STEP1 本製品を接続する

## 接続前の本体の準備

- 静電気の除去  
本製品に触れる前には必ずアース等に触れて静電気を除去してください。
- 必要な周辺機器やケーブルなどを準備の上、システム機器の電源は切ってください。

## 接続図

本カメラの設置工事を始める前に、監視カメラシステム全体の構成を確認してください。



- !** 出荷時は保護フィルムが貼りつけられています。指紋や汚れ防止のため貼りつけたまままで設置を行い、使用するときにはがしてください。

- !** 音声端子、アラーム端子を使用する場合
- コネクタのゆるみ防止としてテープを巻くなどの処置をしてください。
  - ケーブルに水がかかる可能性のある場所で使用する場合、音声端子、アラーム端子に適切な防水処理を施してください。

ネットワークレコーダー (エレコム製 SRB シリーズ) の PoE 端子に接続してしばらくすると、ネットワークレコーダーに接続したモニターに映像が表示されますので、ご確認ください。  
 ● 映像の見方については、ネットワークレコーダーの「セットアップガイド」をご参照ください。

## STEP2 本製品を接続する (続き)

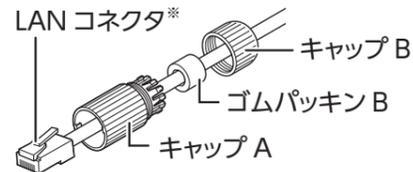
ケーブルに水がかかる可能性がある場所に設置する場合には、必ず防水加工をお願いします

本製品と LAN ケーブルの接続部に付属の防水対策用部品セットを以下のように取り付けてください。

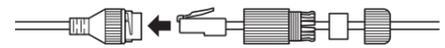
① 本製品の PoE コネクタに防水対策用部品セットのゴムパッキン A を取り付けます。



② LAN ケーブルに以下の順番で部品を通した後、LAN コネクタを取り付けます。

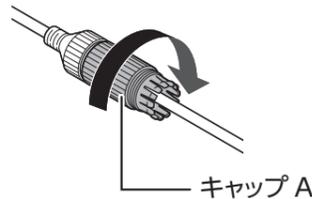


③ LAN ケーブルを PoE コネクタに接続します。

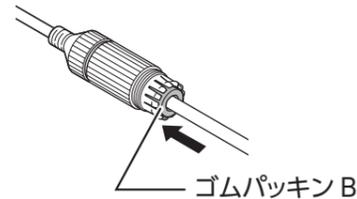


※ツメ折れ防止機能の付いた LAN コネクタや極細ケーブルのような特殊な部品には対応していません。

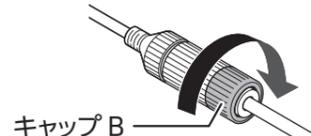
④ キャップ A を時計回りに回して PoE コネクタに固定します。



⑤ ゴムパッキン B をキャップ A に奥まで押し込みます。



⑥ キャップ B を時計回りに回してキャップ A に固定します。



⑦ 接続部に融着テープ (市販品) を巻いて防水処理をします。

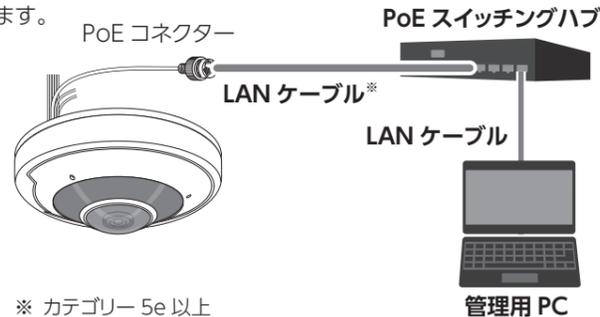
### 本カメラを直接パソコンで設定する場合

右記の接続例のように、本カメラを PoE スイッチングハブに接続し、LAN ケーブルで管理用 PC を接続することで、Internet Explorer 上で映像の確認やカメラの設定などを行うことができます。



#### PoE 対応スイッチングハブについて

- PoE 対応スイッチングハブに LAN ケーブルをすばやく抜き差しすると、本製品に電源が供給されない場合があります。再接続する際には 2 秒以上間隔を空けてください。
- PoE 電源容量は製品の最大電力値 (約 12.8W) を確保してください。
- 動作確認済みの ELECOM 製 PoE スイッチングハブについては、以下の URL をご参照ください。  
[https://www.elecom.co.jp/support/list/network/camera/scb/scb\\_poe\\_list.pdf](https://www.elecom.co.jp/support/list/network/camera/scb/scb_poe_list.pdf)



※ カテゴリー 5e 以上

### 管理画面のアクセス方法

- ① 管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など本カメラと同じネットワークセグメント内に設定します。
- ② 管理用 PC で Internet Explorer を開き、以下のページを表示します。  
<http://192.168.1.13>

**MEMO** ルーターなど DHCP サーバー機能がある機器を接続すると、「192.168.1.13」ではアクセスできなくなります。また、エレコム製 SRB シリーズネットワークレコーダーに接続すると、ネットワークレコーダーから割り振られた IP アドレスが変わる場合がありますので、ご注意ください。その場合は、ネットワークレコーダーの管理画面から本カメラの IP アドレスを確認してください。

- ③ ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。  
初期設定ユーザー名: admin  
初期設定パスワード: 123456

**重要** 初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。パスワードの変更方法はユーザーズマニュアル (pdf 版) を参照ください。

**MEMO** 【最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、...】という黄色い帯が表示されたら、クリックし、画面の案内に従ってプラグインをインストールしてください。



## STEP3 設置する

### 設置の前に

カメラを取り付ける前に以下の内容について確認してください。録画などカメラの設定が完了してから設置をお願いします。(別紙「はじめにお読みください」の「設置上の注意」の内容も必ずお読みください)

- カメラの総重量や振動、不随する部品の総重量などに十分に耐えられる強度がある場所を確保してください。やむを得ず強度が不十分な場所へ取り付けられる場合は十分な補強を施してください。
- LAN ケーブルなど必要なケーブルをカメラ設置場所まで配線します。
- 金属製または木製の壁や天井などに取り付けられる場合
  - ・カメラを取り付けた後のカメラの向きを確認してください。
  - ・万が一カメラが落下した際に害がない位置に取り付けているのかどうかを確認してください。

- ・安定した位置にカメラの固定ネジが取り付けられるかどうかを確認してください。
- その他の壁や天井に取り付ける場合  
金属または木製のボード (例えばモルタルや石膏ボード) については十分な補強を施して設置してください。

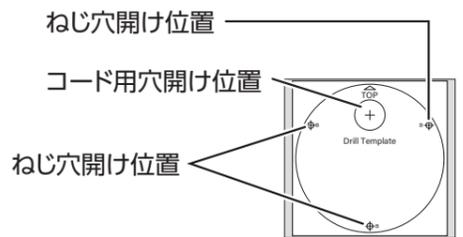
けが防止のため、必ず手袋を着用して作業を行ってください。

設置は microSD カードの挿入後に行ってください。ネジ類は必ず添付のものを使用してください。

### 設置する場所の準備

同梱のフットプリントシールを使用してカメラを設置する場所を準備します。

1 カメラを設置する場所・向きを決め、フットプリントシールを貼ります。



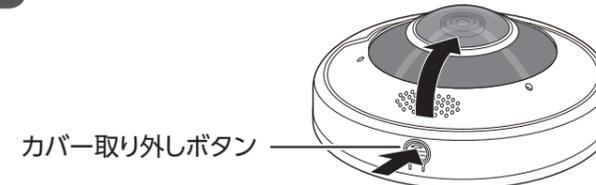
2 フットプリントシールに従って、天井に穴を開けます。これで設置場所の準備は完了です。

穴はφ 6mm、深さ 30mm 程度にしてください。

### microSD カードをセットする

microSD カードは本体を設置する前にセットしてください。

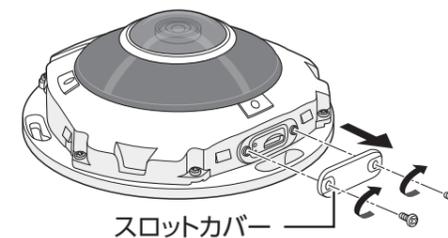
1 ドームカバーを外します。



カバー取り外しボタン

カバー取り外しボタンを押しながら、ドームカバーを図の方向に取り外します。

2 スロットカバーを外します。

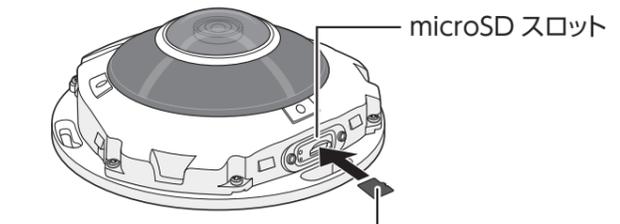


スロットカバー

本体側にパッキンが取り付けられています。スロットカバーを外すときにはご注意ください。

スロットカバーを取り付けるときには、パッキンをカメラ側のパッキン用の溝に合わせて取り付けから、スロットカバーを取り付けてください。

3 microSD カードを図の向きで microSD スロットにセットします。



端子面を下にしてセットします。

4 スロットカバーを取り付けます。

スロットカバー取り付けネジの締め付けトルク: 約 0.44N・m (約 4.5kgf・cm)

本製品は microSD カードのホットスワップに対応していません。microSD カードを交換する場合は、録画を停止させたあと、本製品の LAN ケーブルをはずして電源を切ったうえで交換してください。データ書き込み中に電源を切ると microSD 内のデータが一部またはすべて破損することがあります。交換後は、もう一度 LAN ケーブルを接続してカメラの起動を確認してから、管理画面上で microSD カードのフォーマットを実行してください。

別紙「はじめにお読みください」の「使用上の注意」なかの〈microSD の取り扱いについて〉をよく読んでから、ご使用ください。